

不許可写真

👁️ シリーズ
20世紀の記憶

2

陸軍・海軍・内務省情報局の
検閲をかいくぐり日本でただ一つ
残された歴史資料写真

毎 日 新 聞 秘 蔵



日中戦争 1937年9月 華北



津浦線 支那軍
定河上流 支那軍
津浦線 支那軍

12.9.13
報真

アリ・フ

北 2-2



七区
津浦線 支那軍
攻略 前線 支那軍
支那軍 口砲

北 2-22



津浦線 支那軍
支那軍 口砲

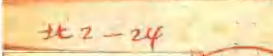


津浦線 支那軍

唐官屯 支那軍

アリ・フ

北 2-23



北 2-24



七区 津浦線 支那軍
支那軍 口砲

唐官屯 支那軍
支那軍 口砲
(支那軍の寫真)



00150128

日本軍は北平に於ては、自衛隊、北平に出動し、津浦線に到着し、八月廿六日、上陸した。八月廿七日、五里から南の方へ津浦線の沿線に馬場方面へ向かう。九月一日は唐官屯を占領した。八月廿九日、津浦線の沿線に支那軍の攻撃を受けた。左中、左下は津浦線の沿線に支那軍の攻撃を受けた。右下は津浦線の沿線に支那軍の攻撃を受けた。八月廿九日、津浦線の沿線に支那軍の攻撃を受けた。

不許可写真 2

社説新日紙
12.9.15
部真寫



馬殿攻略戦
原の部隊長と
赤紫部隊長、十一日

(格闘写真)

不許可

北5-44



田島部隊長に
赤紫部隊長に
馬殿にて、十一日

(格闘写真)

不許可

北5-45



我軍の巨タンク
馬殿にて、十一日

(格闘写真)

不許可

北5-46



我軍の巨タンクは
石川橋川を分乗つて
馬殿にて、十一日

(格闘写真)

日本軍は華北へ兵力を増強し、北支那方面軍を編成した。同軍第2軍第10師団は9月11日馬殿を占領。
師団長(原田英、連隊長ら)の写っている写真(上2枚)と、日本軍の巨タンク(小型戦車、下2枚)の写真は不許可となつた(真影1937/8/1)



津浦線馬房及略
 乙隊勤務許可
 許兵官 芝甲艦

大坂海軍新聞社
 12.9.19
 東京電

津浦線馬房 (乙)
 業 8-2

津浦線馬房川
 乙隊甲艦



業 8-3



津浦線馬房及略
 乙隊甲艦
 前線に酒類運送

檢閲済

業 8-4

津浦線馬房川の
 軍用物資運送
 乙隊甲艦
 檢閲済



津浦線馬房攻めに活躍した新兵器の新甲艦(上2枚)は不許可。
 『前線に酒類運送』(左中)と津浦線馬房川の軍用物資運送を撮る赤染部隊一軍1000連歩兵第10連隊(下)は檢閲済みで許可。1937年8月

読新日新報
12.9.19
部真寫

檢閱濟

津浦線馬及改路
夏、飯川の架橋



7-世5-10

津浦線馬及改路
秋の軍用橋架設
赤下川架橋



世5-9+6



津浦線馬及改路
秋の軍用橋架設
赤下川架橋

+6
世8-12

津浦線馬及改路
秋の軍用橋架設
赤下川架橋



東海線馬橋、不許可とならなかったのは高瀬川の架橋(上)の1枚のみ。軍橋を渡る歩兵第10連隊(上が62枚目)、馬籠川架橋(上が63枚目)、馬籠川厚河(下)の3枚は不許可となった。

不許可となったのは背景が写りこんでいるためか?—1937/9月

昭和19年
12.9.19
部真寫

津浦線
赤染部隊
馬車
上から2枚目
不許可



上
世 8 - 26

津浦線
赤染部隊
馬車
上から3枚目
不許可



上 8 - 27



津浦線
赤染部隊
馬車
上から4枚目
不許可

檢閲済

上 8 - 28

内野橋
赤染部隊
馬車
上から5枚目
不許可



津浦線馬車輸送の赤染部隊(上)と敵前運河(上から2枚目)の2枚は不許可。
「津浦線馬車輸送を終えて人も馬もぐたぐたに」の写真説明のある写真(上から3枚目・「真境」と北平西部の門頭溝戦線(下)は不許可と45年かた...1947年9月

読者新聞
12.9.19
部真寫

不許可

檢閲済

中野戦線、国軍攻勢、永定川
撤退鎮我軍、重砲隊迄
隊部、十三日

世八三 63

不許可



不許可

中野戦線、永定川
国軍攻勢、重砲隊迄
隊部、十四日

檢閲済

世八一六四

中野戦線、永定川
撤退鎮我軍、重砲隊迄
隊部、十三日

不許可



中野戦線(北平から南へ向かう京漢線沿線)で日本軍は9月14日、永定川を渡河し国軍を攻撃した。重砲隊連隊部隊(上)、国軍を攻撃する連隊重砲隊(中)は、最初は不許可で後解消された。下も中野戦線国軍攻撃の重砲隊。写真説明の「重砲隊」は「重砲隊」上修正指示がある。1937年9月

新聞新日命版大
12.0.10
部兵寫

不談

中三ノ戦、你、固、其、攻、略、
永定、恒、榆、恒、鎮、我、軍、砲、隊、
遠、在、三、ノ、流、の、砲、隊、手、

北 8 - 66



中三ノ戦、你、永定、恒、
榆、恒、鎮、恒、軍、力、進、之、を、
示、す、士、兵、(下略)

檢閱済

北 8 - 67



東日本、村、宇、兵、死、り、
飢、を、さ、す、
檢閱済

中部戦線、重砲隊演習部隊の砲撃の写真(上)は不許可。

中の写真は永定川の北岸機銃陣(写真説明では機銃隊とある)で日の丸を掲げて日本軍の「進出を喜ぶ現地人」(1937年9月)

大正十四年九月十二日
 12.9.22
 寫真部



聚樂區を發す
 猪鹿倉中隊
 猪鹿濟
 カマクラ 三原小

北10-70

北10-21



大同御所
 大同御所
 大同御所
 大同御所
 大同御所
 カマクラ 三原小

北10-22



政府内前
 志西太平山
 張水口
 猪鹿濟

北10-23



劉世明兵營
 入口
 張水口
 猪鹿濟
 カマクラ 三原小

北10-24



倉瀬
 倉瀬
 倉瀬
 倉瀬
 倉瀬
 猪鹿濟

北10-25



常哈爾自治政府
 の手紙
 張水口
 猪鹿濟
 カマクラ 三原小

北10-26



十川部隊
 劉長谷本中佐
 猪鹿濟

北10-27



陽漢隊
 龍津中尉
 山本少佐
 山本少佐
 山本少佐
 小橋少佐
 小橋少佐
 大岡

許可



市街掃蕩
 陽漢隊
 猪鹿濟

可

関東軍第10師(内モンゴル地区)派遣兵団は9月27日、張家口を占領した。さらに西へ進み9月11日察東堡、13日大同を占領した。
 十川部隊長(同兵団副隊長)張少佐(同歩兵第1連隊長)や陽漢部隊(同歩兵第3連隊)の幹部の写真は許可になった(上から4段目右、下2枚)…1937年

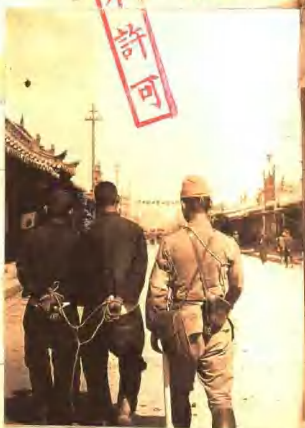


大同市自治政府



不許可

北10-78



アリ-7
北10-79

不許可



大同城内で捕へる便衣隊
十一月五日

大同城内で捕へる
便衣隊 15日

大同城内で捕らえた中国の便衣隊(平服を着て露地に入り、敵を襲う兵。便衣とは中国で警察着、平服)の写真(中、下)は不許可。
上は大同市自治政府…1937/9月



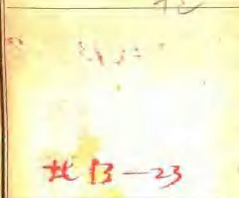
保定入城
各部隊の駐屯と入城
保定入城
二十五年

不許可

大正十四年十二月九日
12.9.28
寫真部

不許可

北平-22



保定入城
各部隊の駐屯と入城
保定入城
二十五年

不許可

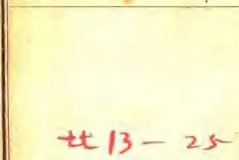
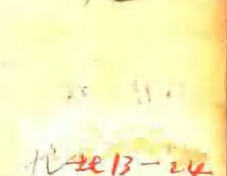
保定入城
各部隊の駐屯と入城
保定入城
二十五年



保定入城
各部隊の駐屯と入城
保定入城
二十五年

不許可

保定入城
各部隊の駐屯と入城
保定入城
二十五年



保定入城
各部隊の駐屯と入城
保定入城
二十五年

不許可

保定入城
各部隊の駐屯と入城
保定入城
二十五年



保定入城
各部隊の駐屯と入城
保定入城
二十五年

檢閲済

中部戦線では9月24日、日本軍は保定を占領した。25日保定入城式。各部隊の駐屯会(上)や部隊長保定占領祝賀(上から2枚目)の写真は不許可になった。上から3枚目の写真は、部隊長「保定入城」という写真説明が「我軍の入城を喜ぶ保定市民」と書き換えられている。入城(上から4枚目)、中国人の兵隊行列(下、北平)…1937/9月



大同 十一年
 大 同 十 一 年
 東 條 部 隊 長
 中 村

12月
 部 眞

北 17 - 5

九月廿四日
 平地象を一番乗りして
 開明門より入城の千田部隊
 若根隊
 板倉正太郎
 中 村 檢 閲 済



北 17 - 6



九月二十日
 占領したトーチカを
 する千田部隊の勇士
 由良 鑑 吉
 中 村 檢 閲 済

東條(右側)部隊長一騎乗参謀長兼敵砲隊通信兵団司令官以下幹部の写っているもの(上)は不許可となった。関東軍は大岡から北へ進み、9月24日平地象(美軍)を占領した。平地象一番乗りで屋根に登っている写真(中)や、豊饒で占領したトーチカの上で万歳している写真(下)は許可された。1937/9月

12.12.1
部真寫

檢閱済

九月二十四日 松本軍九番
平地泉隊 駐上堂々 又城の
千田部隊
平地泉隊
中村



九月十九日
大同城内上り 敵警戒す
十川部隊
大同にて
中村
檢閱済

アリフ
20/19

九月二十四日 松本軍九番
精った敵残兵(便衣隊)
平地泉隊
中村



松連省(現内モンゴル自治区)平地泉、大同。
中国人捕虜(便衣隊)を連行する写真(下)は不許可—1937/9月



九月十九日
 日章旗をひるかへし
 前進する蒙古騎兵隊
 大同にて中村
 檢閲済

新報
 12月1日
 部真寫

北川

852



九月十九日
 懐仁より更に前進する
 砲兵の部隊
 大同にて
 中村
 檢閲済



大同歌の東條師団隊長
 中村

上の写真が「日章旗をひるかへし」前進する蒙古騎兵隊。
 下は大同駅の東條英徳陸軍少将で不許可となった。大同1937/9/19

大正 12.10.5
寫眞部

津浦線

檢閲済

津浦線
後方の路軌
我軍は踏ます
り聯式を柵壁
致條細



4722-45



津浦線
後方の路軌
徳川の石前線(西茶)
すゝ石の石前

檢閲済

4722-46



津浦線
我軍は踏ます
すゝ石の石前
ミカミ路の林に
檢閲済

4722-47



石永莊改路軌
コレヲと對
石永莊改路軌
コレヲと對
木村鐵道の上
ク署予防使射
新木三

済

アリ・フ

4722-48



石永莊改路軌
コレヲと對
石永莊改路軌
コレヲと對
木村鐵道の上
ク署予防使射
新木三

日本軍北支那方面軍は馬尾から津浦線を引き、10月3日石永莊を占領した。日本軍を監視した、ソ連式の鉄条網と水壕(写真上、右中)。コレらの手防注射を受ける日本軍兵士の写真は不許可となった(1937年)



北31-2



砲兵陣地の中敵社を
視察す 板垣新隊長
王家荘にて
カキコ 長井

作戦せねば
板垣部隊道隊新
王家荘に
カキコ 長井



北31-3



空爆の勇士
王家新隊長
カキコ 長井

北31-4



検閲済
浮平鎮 梶口
カキコ 長井

カキコ 長井

北31-5



砲煙に煙子
砲陣地
王家荘にて
カキコ 長井

検閲済

日本軍北支那方面軍は10月1日、第6師団を察州方面から山西省太原へ向かわせた。不許可となっている上2枚は、王家荘での板垣部隊(第5師団)幹部と板垣師団長(キャプションでは板垣副師長)が写っているもの。右中の写真は背景の建物をカッティングして使用することとされた。山西省1937/10月



津浦戦線
 德四飛行隊
 中平部隊の
 精銳 二三三



北34-34



津浦戦線
 德四飛行隊
 中平部隊の
 精銳 二三三

北34-35



津浦戦線
 德四飛行隊
 中平部隊
 二三三

北34-36



津浦戦線
 德四飛行隊
 中平精銳
 二三三